

市町村合併問題

県主催の合併シンポジウムが、2月18日(日)に千葉市においてありました。東京大学大学院教授で県合併推進審議会会長の森田朗先生の講演や(株)ちばぎん総合研究所社長、県合併担当課長などの話を聞いて来ました。

県は、これから順次地域にて説明会を開催するそうですから、千葉ニュータウン地域でやる時には皆さんも是非話を聞いてください。

今3月議会の一般質問に対し、市長は現時点では合併のことは考えていないと答弁していますが、県は積極的に取り組むと言っていますので、今後どういう展開になるか注目されるところです。

いずれにしても、合併問題が大きな政治テーマとして再びクローズアップされて来ました。

基本的な考え方としては

平成16年7月11日の住民投票の結果どおり合併しないとする考え方

今般県が発表した2市2村の組み合わせで再検討する考え方

鎌ヶ谷市と合併すべきとする考え方

船橋市や東葛政令指定都市などへの参加を検討する考え方

桜台は2市2村、富士地区は鎌ヶ谷市など各々好きなところへ行こうとする考え方

などなど実に様々な考え方があります。

私は、現実性のある考え方としては、県の示している2市2村か、住民投票どおり合併しないとするかの二つだと思いますが、来年11月の市長選に向かって大いに議論すればよいと思います。

私は、合併は、大筋としては、住民にとってマイナスはないと考えています。我々のまちは、2010年成田新高速鉄道の開通と2013年度企業庁及び都市再生機構の千葉ニュータウン事業からの撤退など生活環境が大きく変わろうとしています。

住民の生活圏が、北総鉄道や国道464号により、行政圏を越えてどんどん拡大していますから、生活圏に合わせて行政圏を見直すべきだと考えます。消防やごみ処理は一部事務組合でやるより、単独市でやった方が良いに決まっています。

いずれにしても、今後住民投票の結果をよく検証し、孫・子のために、行財政改革の原点に立って、もう一度合併問題を検討してみたいと考えています。



早稲田大学第一法学部卒 元大蔵大臣衆議院議員三塚博秘書 元大山口2丁目住宅管理組合理事長
白井町議会運営委員長 / 文教常任委員長 / ニュータウン対策特別委員長 / 北総開発鉄道・成田新高速鉄
道促進議員連盟会長 白井市監査委員 あしながPウォーク10白井コース実行委員長

白井市議会議員 多田 育 民

(無所属)

〒270-1412 白井市桜台2-4-1-104 TEL 047-491-3644 FAX 047-491-5244

E-mail: tada-yasutami@rurbannet.ne.jp <http://www1.rurbannet.ne.jp/~tada/>